

事業所名

一般社団法人つばさ 矢板事業所

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

2024年

4月

1日

法人(事業所)理念		①利用者一人ひとりが持っている生きる力と個性を尊重し、その利用者の成長にあった療育・支援をおこなうことを基本とします。 ②10年後・20年後に人として安定した輝きある人生が歩めるよう、様々な利用者同士の交流や出会いの体験を大切にします。 ③利用者が自信をもって日々成長していく姿が認められるような療育・支援を目指し、長期的な目標を掲げ、継続的な療育・支援に取り組みます。					
支援方針		・一人ひとりの個性や成長を受容すると同時に、保護者からのニーズに合った支援計画を作成し、実施します。 ・子ども一人ひとりの戸惑いやことは、行動からでてくる意思表示を共有し、寄り添いながら課題や問題の解決方法を探ることを目指します。 ・本人や保護者、家族の要望をもとに、将来に向けての見通しが持てるように関係機関との調整の他、地域や関係者との連携していくための役割を担います。					
営業時間		8時	30分から	18時	00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持、改善 ⇒心身の状態をきめ細やかに確認するとともに、こどもに適した身体的、精神的、社会的支援を行う ・生活習慣や生活リズムの形成⇒食事や排泄等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けられるよう支援する ・基本的な生活スキルの獲得 ⇒生活に必要な基本的技能(食事・睡眠・排泄・衣類の着脱等)を獲得できるよう支援する					
	運動・感覚	・姿勢と運動、動作の向上⇒日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る ・身体の移動能力の向上 ⇒自力での身体移動や歩行、車椅子等による移動など、日常生活に必要な移動能力や事業所外の社会的な場面における移動能力向上のための支援を行う ・感覚の特性への対応 ⇒感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う					
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応 ⇒一人ひとりの認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、こだわりや偏食等に対する支援も行う ・対象や外部環境の適切な認知と行動の習得⇒視覚や聴覚、触覚等の感覚を十分活用し認知機能の発達を促す、また認知や行動の手掛かりとなる概念の形成を図る ・行動障害への予防及び対応 ⇒感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う					
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上⇒言葉だけでなく、表情や身振り等によりやりとりが行えるようにするなど、基礎的なコミュニケーション能力が身につくよう支援する ・言語の受容と表出、形成と活用 ⇒相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど言語の受容と表出、またコミュニケーションを通して形成と活用につなげる ・状況に応じたコミュニケーション ⇒場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する					
	人間関係 社会性	・情緒の安定 ⇒自身の感情や気持ち等、変化の幅を安定させることに興味を持つことができるよう援助し、安定した情緒の下生活ができるよう支援する ・他者との関り(人間関係)の形成⇒他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援する ・仲間づくりと集団への参加 ⇒集団に参加するための手順やルールを理解できるよう支援し、相互理解や互いの存在を認め合いながら仲間づくりにつながるよう支援する					
家族支援		・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整を行います ・子育て上の課題の聞き取りと必要な助言を行います ・支援の輪を広げるため、関係者や関係機関と連携し支援体制を構築します			移行支援		・具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行います ・移行先との調整、支援方針や内容の共有を図ります ・移行先への相談支援や移行先の受入れ体制づくりへの協力を行います
地域支援・地域連携		・子どもが通う学校との情報連携を図り、担当者会議等積極的に開催します ・地域全体での支援力を高めるため関係機関とのネットワークを構築します ・地元ボランティア受入れにより地域住民との交流を深めます			職員の質の向上		・自己評価に基づく課題等を踏まえ、事業所内外の研修を通じて専門性を高めるための知識や技術の習得に努めます ・職員一人ひとりの成長により、事業所全体の質の向上に努めます
主な行事等		・季節の変化を感じ取る作物の苗植えや収穫体験、豆まきや夏祭り、プール遊びや外遊び等 ・ボランティア団体によるオカリナ演奏会、グラウンドゴルフ体験、事業所付近への積極的な散歩実施による地域との交流 ・近隣公園等での園外療育等					